

<第116号>

事務局だより

平成24年12月10日発行

現在の会員数

合計 366名

(男性 230名)

(女性 136名)

□除雪作業者が不足しています

次の地区の除雪作業者が不足しています。ご協力できる方は、お知らせください。日中1時間程度の、高齢者世帯の除雪作業です。

★西部地区、中部地区、六郷地区、浅瀬石地区

□1月家事・介護班学習会 ～料理教室～

家事・介護班の方は、積極的に参加してください。班に所属していない方も、男性・女性問わず参加できます。

1. 日時 1月15日(火) 午後2時～午後4時
会場準備は午後1時45分から。
2. 場所 西部地区センター
3. 内容 家事援助サービス(調理・掃除)のマナー
料理教室(アップルパイ、がんづき)
4. 定員 15名
5. 申込 1月8日までに電話でお申し込みください。
5. 備考 料理教室は、会員だけで行います。準備、片付け等にご協力をお願いします。

□除雪機操作講習会

除雪機を使う作業を希望する方、興味のある方は、ぜひ参加してください。なお、作業に従事している方は、必ず参加してください。

1. 日時 1月24日(木) 午前9時30分～午前11時30分
2. 場所 東公園2号園駐車場
3. 講師 村上農機工業 村上俊幸氏
4. 申込 1月17日までに電話でお申し込みください。

□善行紹介

谷正治さんと村上十三男さんが、物置の片付けをしてくださいました。どうもありがとうございました。

□作業できる会員を探しています

次の職種は、作業できる会員が不足しています。25年4月からの稼働を考えています。ご協力できる方は、お知らせください。

★蜂の巣駆除・薬剤散布・賞状書き・宛名書き・障子張り替え・襖張り替え・
犬猫の死骸運搬

□黒石りんごまつり協力者

次の方々にご協力いただいて、無事に終えることができました。ありがとうございました。

★前日準備・当日スタッフ

白戸優子、大平えり子、鈴木一弘、尾崎ミツ、高田浩尔、枝村陸治、中村ふな

★作品出品者

駒井良一、鈴木国穂、尾崎ミツ、木村那智子、渋谷武一、工藤鉄雄、中村ふな

□理事長のつぶやき ～老いる～

私にとって「老いる」という言葉は、自分で年を重ねてくると響きとして非常に聞きづらく、嫌悪感さえ持ってきた。

しかし最近少しずつ変化してきたのだ。キッカケとなったのが、ラジオであった。江戸時代中期、老いは「老入れ」といって、老いたこと、年を取ったことを尊敬していたというのだ。

この話は、200年位前の江戸町内（同時の江戸の人口は約110～120万人）の話で、おそらく商人や武士の話だと思われるが、25歳頃から50歳頃までめいっぱい仕事をし、その後は隠居して成熟した人生を送ったというもの。大半の人は、文化的な風流を好み、所謂粋な江戸っ子を気取り、充実した人生を送るために精を出していたという。

老いが最も尊敬され、威厳を誇った例としては、家老・老中・大老という役職に就き、藩や国の要職を担った数多くの例がある。ところが、中部地方のある村では、食い扶持を減らすため母親を山に捨ててに行ったという話もある。これがいわゆる「姨捨山」だが、これには落ちがあって親子の情で最後は背負って帰ってきたというもの。その後、母親は知恵比べに勝ち、その家は貧しいながらも地域の信頼を得、子どもは親を大切にしたという。

さて、現代の世知辛い世の中、充実した人生が送れるのか、はたまた「弱者切り捨て」がいいのかを、よく考えてみたいものである。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131